

科目名	医用治療機器学Ⅱ			授業の種類	講義演習	講師名
授業回数	15 回	時間数	30 時間 2 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期 3年 前期
【授業の目的・ねらい】 現代医療において我々は様々な医用機器の恩恵に預かっている。臨床工学技士は臨床現場においてこれらの医用機器が用いられるところで業務遂行していく能力が求められるため、本授業ではこれらの機器の安全で適切な使用についての知識を修得すると共に、国家試験合格に向け十分な学力を身に付ける。						
【実務者経験】 臨床工学技士として姫路聖マリア病院にて、医療機器管理業務をはじめ、手術室業務・血液浄化業務・救急医療などに従事経験。						
【授業全体の内容の概要】 医用治療機器学分野を主とした問題について、演習を行う。 クラス内で理解度を確認し、国家試験合格に向けた学力を身につける。						
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 ・各装置の用途、使用上の注意点を説明することができる。 ・臨床工学技士国家試験の過去問が解けるようになる。						
回数	講義内容					準備物(教材)
1	授業ガイダンス、治療機器に用いるエネルギーの特性について					
2	電磁気治療機器①電気メス、マイクロ波メス					
3	電磁気治療機器②除細動器、AED、ICD					
4	電磁気治療機器③					
5	電磁気治療機器④					
6	小テスト、機械的治療機器① 吸引器、体外式結石破碎装置、輸液ポンプ、シリンジポンプ					
7	機械的治療機器②					
8	機械的治療機器③					
9	機械的治療機器④					
10	小テスト、まとめ①					
11	光治療機器、超音波治療機器、内視鏡治療機器、熱治療機器①					
12	光治療機器、超音波治療機器、内視鏡治療機器、熱治療機器②					
13	光治療機器、超音波治療機器、内視鏡治療機器、熱治療機器③					
14	光治療機器、超音波治療機器、内視鏡治療機器、熱治療機器④					
15	小テスト、まとめ②					
定期筆記試験						
【使用教科書・教材・参考書】 日本臨床工学技士教育施設協議会『臨床工学講座 医用治療機器学』 日本生体医工学会監修『MEの基礎知識と安全管理』 金原出版株式会社『臨床工学技士標準テキスト』						
【準備学習・時間外学習】 ・事前に教科書を読んで講義に臨むこと ・講義後は板書とメモと教科書を用い、要点をまとめること ・ME2種や国家試験の過去問にも積極的に取り組むこと						
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する 試験は小テスト40点、期末テスト60点の合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する						